

芸術文化登録団体（大練習室利用団体）代表者 各位

倉敷市長 伊東 香織
(文化振興課扱い/公印省略)

倉敷市文化交流会館練習室に関するヒアリングの実施について（お知らせ）

本市の文化振興行政については、平素から御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市の公共施設の将来的なあり方を示した「倉敷市公共施設個別計画」では、老朽化し耐震基準を満たしていない文化交流会館については施設を廃止し、山陽ハイツ跡地（倉敷市有城）に練習室を持つ複合施設を建設するとしています。

この計画に関連して、今年2月、倉敷市文化振興財団が利用団体の皆様にアンケートを実施したところ貴重な御意見を賜りましたが、このたび、皆様から直接ヒアリングをさせていただく機会を設けることにいたしました。

新施設建設に関してヒアリングを御希望の団体におかれましては、次のとおり御連絡をお願いいたします。

記

- 1 今回のヒアリング対象団体 大練習室の利用団体のうち希望する団体
- 2 会場 倉敷市文化交流会館 第1小練習室
コロナ禍及び会場の都合上、1団体あたり3人までの出席でお願いします。
- 3 日程
次の空欄のうち、御希望の時間帯を電話や Fax、メールなどでお知らせください。
先着順とさせていただきます。

御希望に沿えない場合、可能な限り下記以外の日時でもお受けします。

	18:00～	18:30～	19:00～	19:30～
7月13日(水)				
7月14日(木)				

- 4 問い合わせ及び連絡先
倉敷市文化振興課 担当 浅野、古賀
電話086-426-3075 Fax086-421-0107
Eメール c1tprm@city.kurashiki.okayama.jp

◎ 現在の設計に関する要求水準案は、別紙のとおりです。

(仮称) 都市防災公園及び複合施設整備事業

- 1 施設整備のテーマ 自然や地形を活かした 多世代が集う「都市防災公園」
- 2 設計・建設期間 令和7年度5月頃まで
- 3 要求水準案

事業全体としては、生涯学習や地域連携の場となり、防災、景観、環境、安全、バリアフリーなどに配慮することを骨子としており、練習施設の具体的な要求水準案については次のとおりです。

これらは、事業者から提案をもらうために公表していますが、確定しているものではありません。ただし、国の交付金を利用する関係もあり、全体の面積を増加することは難しいと御理解ください。

(1) 練習室

施設名	要求案	現文化交流会館の面積
音楽スタジオ A	240 m ² 程度	240 m ²
音楽スタジオ B	120 m ² 程度	120 m ²
音楽スタジオ C	30 m ² 程度	第1小練習室 24 m ² 第2小練習室 16 m ²

- ・ 諸室および近隣を考慮した、適切な遮音・振動対策
- ・ 室内の音の残響・反響等の音環境に配慮した仕上げ
- ・ 換気が十分できること。
- ・ 各部屋の壁の1面に固定壁面鏡、カーテン、バレエ用バーの設置
- ・ 床は平土間、フローリング仕上げ（上履き専用としての利用を想定）
- ・ 各部屋の入口付近に靴の履き替え・靴箱設置が可能なスペースを確保
- ・ スタジオ単位での空調設定が可能なこと。
- ・ 音楽スタジオ A・B について
 セミコンサート・グランドピアノ 1台、天井高 3.3m以上、大型楽器（和太鼓、ティンパニ等）を搬入するための高さ、有効間口のある扉を有すること。
 4tトラックからスタジオまで大型楽器を台車等で雨にぬれず搬入搬出ができること。

(2) 楽器庫 75 m²程度（全5室）

施設名	要求案	現文化交流会館の面積
楽器庫（全5室）	75 m ² 程度	49.6 m ²

- ・ 楽器の品質が落ちないように、遮光性や換気に配慮すること。
- ・ 大型楽器が容易に搬入・搬出可能な扉、位置を工夫すること。

(3) その他施設

2階建て以上とし、エレベータを設置
多目的室・更衣室・救護室・飲食スペース・トイレ（男女別、多機能）ほか
駐車場 60台以上。駐輪場 20台程度、屋根付き